

国立大学の再編・統合を考える際の論点メモ（案）

1 再編・統合を進める理由

- ・人材大国・科学技術創造立国を目指す上で、国立大学が国際競争力のある大学として活性化、各国立大学の将来の発展のための教育研究基盤の強化
- ・大学の構造改革の推進と国立大学法人化等を踏まえた国立大学の教育研究の充実発展

2 統合・再編を検討する際の視点の例

- ① 教養教育の幅の広がりや体制整備
- ② 専門教育・学術研究分野の拡大及びそれに触発された新分野の開拓
- ③ 地理的近接性
- ④ 人材養成（教員等）への対応
- ⑤ スケール・メリットの確保（共通の教育研究組織、事務部門の簡素・合理化等）
- ⑥ 地域の発展への貢献
- ⑦ その他

- ・法人化とも関連して、地方公共団体や学校法人との連携も検討課題

3 統合・再編の進め方

- ・教育研究を直接担う各国立大学が幅広い観点から大胆かつ柔軟に検討することが必要
- ・各国立大学の自主的改革努力を支援
- ・文部科学省としての再編・統合指針の提示
- ・これらを踏まえ、文部科学省として、具体的な再編・統合の計画を策定
- ・具体的な再編・統合は、一律にではなく段階的に推進
- ・構造改革全体の動きに対応した迅速さも必要